

家族で防災会議をしよう

自宅周辺の避難場所を確認しよう

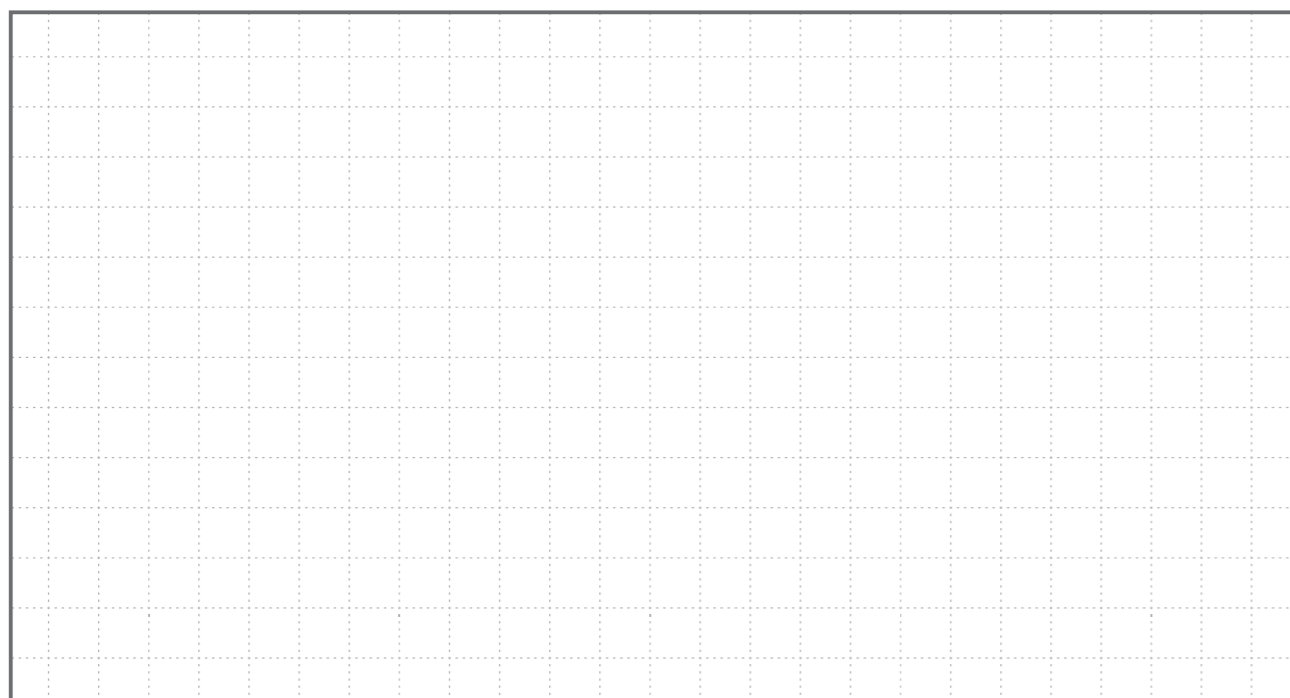
災害が発生したらどこへ避難するのか、前もって確認しておきましょう。

■ 自宅の災害想定

- 震度予測
震度 m
- 浸水想定 m
- 土砂災害警戒区域
有・無

■ 自宅周辺の避難所 / 避難場所

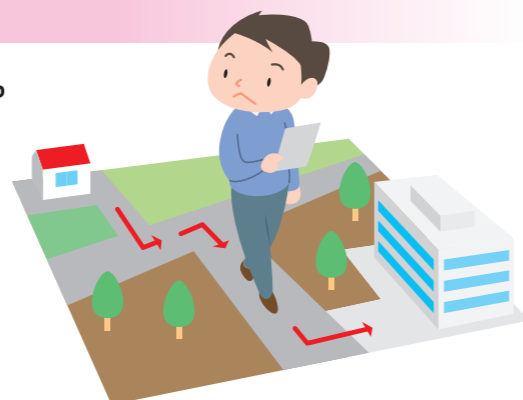
わが家の避難経路図



実際に避難ルートを歩き、危険な場所がないか確認しよう

避難ルートのチェックポイント

- 川や水路など、大雨の際に危険な箇所はないか？
- 坂道や階段などの歩きにくい箇所はないか？
- 夜間での避難を想定し、街灯などはあるか？
- 自宅から避難先までの時間はどの程度か？
- 避難途中で逃げ込めそうな場所はあるか？



家族が離れ離れになったときの落ち合う場所を決めよう

災害はいつ、どこで発生するかは分かりません。家族が離れているときやバラバラになってしまったときに落ち合う場所を決めておきましょう。

■ 家族の落ち合う場所

安否確認の方法を決めよう

家族の連絡方法を決めておきましょう。
避難するときは自宅に避難先などの張り紙をして、安否を確認するルールを決めておきましょう。
連絡先を裏表紙に記入しておきましょう。
災害用伝言ダイヤルの使い方について確認しておきましょう。

災害用伝言ダイヤル(171) 災害用伝言ダイヤル(171)は、災害時にNTTから提供される「声の伝言板」です。

使用方法を知っておきましょう。(※サービス開始は、テレビ・ラジオなどで通知されます)

録伝音の 171 ▶ 1 ▶ 被災した家の電話番号 ▶ 伝言を入れる (30秒以内) ガイダンス(説明)がながれます。被災者は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からプッシュする。

再伝生の 171 ▶ 2 ▶ 被災した家の電話番号 ▶ 伝言を聞く ガイダンス(説明)がながれます。被災者は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からプッシュする。

※携帯電話でも、「災害用伝言板」が利用できます。使い方をあらかじめ確認しておきましょう。
※災害時、緊急でない電話はなるべく控えましょう。 ※毎月1日、15日に体験利用ができます。1度体験してみましょう。

災害用伝言板(web171) 災害用伝言板(web171)は、インターネットでできる災害用伝言板です。

自分の安否情報を登録することができ、インターネットなどを通じて、登録された安否情報を家族や友人などが確認できる災害時専用のサービスです。

また、あらかじめ指定した家族や友人に対して、災害用伝言板に登録したことをメールでお知らせすることも可能です。

災害用伝言板
(web171)
<https://www.web171.jp>

自宅内に危険な場所がないか確認しよう

地震発生時、家具・家電などの転倒により、ケガをしたり、逃げ道がふさがれたりする可能性があります。

37~38ページを参考に、家族で自宅内の危険な場所を探し、家具転倒防止金具の設置や家具などの配置を変更するなどしましょう。

非常持出品・非常備蓄品の確認をしよう

40ページを参考に考えてみましょう。
記載しているもの以外にも人によって必要なものがあるかもしれません。